

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査について

（本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの）

1 学力検査に関する結果の概要

【国語】

- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくことができる。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることができる。
- 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題がある。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることに課題がある。

【算数】

- 台形の構成要素やそれらの位置関係について理解できている。
- 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。
- 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに課題がある。
- 資料の特徴や傾向を関連付けて判断し、理由を記述することに課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 地域の行事に参加することができる。
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができる。
- 将来の夢や目標を持つことに対して課題がある。

3 取組についての評価

（1）教科に関する取組

①効果があった取組

- ・算数科の重点単元における少人数指導の実施
- ・交流ボードを活用した交流活動と振り返りの場を設定した授業づくり
- ・学力調査を活用した授業改善の取組（全職員での自校採点による課題分析と授業改善）

②今後の学力向上に向けた取組

- ・日常的に書く活動を重視した取組
- ・課題がある内容を重点に、フォローアップシートや過去問題を活用した授業づくりに取り組む

（2）児童質問紙の内容に関する取組

①効果があった取組

- ・地域と連携した学校行事でのコミュニケーション活動
- ・学び方を身に付けるため、1～5年生児童による、6年生の学習の様子への参観

②今後の取組

- ・総合的な学習の時間を中心に、成長モデルとなる人との出会いの機会を設ける。
- ・道徳や特別活動を中心に、今の自分と将来の自分をつなげて考えさせ、将来への展望をもつ機会の設定。